



伊達宗敏坐像

岩出山伊達家二代

宗敏の時代

— 城下町岩出山の発展の頃 —

2019年

6月4日(火)～8月4日(日)

会場:旧有備館および庭園 / 休館日:月曜(祝日の場合は翌日)

入館料:大人300円・高校生200円・小中学生150円 / 開館時間:午前9時～午後5時(最終入館午後4時30分)

基調講演

7月13日(土)

【会場】岩出山公民館(スコレハウス)2階 研修室

宗敏の時代

— 城下町岩出山の発展の頃 —

岩出山伊達家二代宗敏の幼少期は戦国時代の名残を残す時代でした。伊達政宗とともに米沢から岩出山に移って来た譜代の家臣や商人たちは仙台へ移り、岩出山には空き地・空き家が目立っていたかもしれません。政宗四男の宗泰が岩出山城を与えられたことにより、岩出山伊達家が創出されましたが、その時期の記録はほとんど残されていません。宗泰の死後若くして家督を継いだ宗敏についても、確かな記録は少なく、生涯は謎に包まれています。

本企画展では、54年の生涯で数多くの治績を挙げた「二代宗敏の時代」に焦点をあて、岩出山地域の成り立ち、特に「有備館」の由緒に触れていきます。

謎に包まれた宗敏の生い立ち

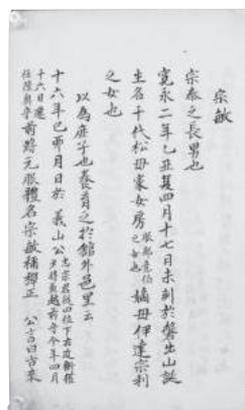


「岩出山のむかしかたり(一)」

宗敏は寛永2年(1625)、宗泰の庶子として誕生しました。幼少の時から玉造郡名生定村や涌谷の篁岳寺中の坊で養育されたと伝わり、岩出山では伝説として長く語り伝えられてきました。

要害拝領と館下町の整備

寛永15年(1637)宗泰の死後、宗敏は父の遺領を相続、藩主忠宗の家臣として一門に列せられました。岩出山城は宗敏の時「岩出山要害」となり、新たに二の丸に居館を建てて移り住みました。また館下の町割を初めて行ったと伝わり、現在に続く町の整備が行われました。



「宗敏公御家譜」

屋敷と寺社の建立・新田開発



「玉陽山祥光寺遺蹟書上光事」

宗敏は、二の丸居館の2度の建設に続き八幡宮の再建、祥光寺の建立、仙台屋敷の建設を行い、晩年には居館の北に自身の別業(隠居所)を建設しました。

宗敏の時代には、岩出山の城廻・栗原郡若柳村・志田郡鷹巣村などで新田開発も行われました。

寛文事件と宗敏



「御城廻絵図」より「御預り屋敷図」

仙台藩全体を大きく揺るがした「寛文事件」には宗敏も部外者では済まされず、後見人伊達兵部の一味と見なされ孤立する場面もありました。事件後、宗敏は兵部の家族を預かることとなり、岩出山に「御預り屋敷(通称御日陰屋敷)」が建設されました。

関 連 事 業

基調講演

演題

「岩出山伊達家二代宗敏
謎に満ちた生涯を追う」

講師

菊地 優子 (大崎市教育委員会
文化財調査員)

日時: 2019年7月13日(土) 午前10時~
会場: 岩出山公民館(スコレハウス)2階 研修室
定員: 100名 料金: 無料

みどころ紹介講座

会期中に企画展の見所や展示資料についての解説を行います。

[1回目] 寛文事件その後 伊達兵部子女御預りの件
[2回目] 城下町割り図を読む

日時: 2019年6月14日(金)、7月26日(金)
午前10時~午後0時

会場: 岩出山地区公民館(有備館向い)

定員: 各回20名程度(要事前申込)

料金: 500円(入館料含)